

教師用発問サポート資料

1 使用するプリント コク×スク レベル 2-1 情報と情報の関係を理解する

2 単元の目標

- (1) 情報と情報との関係の様々な表し方を理解して使うことができる。 [知識及び技能] (2)イ
(2) 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くこと (1)エ

3 学習の流れ

【①導入】 今まで学習してきた、思考ツールや情報の整理の仕方を思い出させ、どんな時に効果的に活用できるかを考える。



今までの学習で、複数の情報をまとめるときに情報と情報の関係がわかる整理の仕方をいくつか学習してきましたね。どんなものがあったか覚えていますか？ 思い出すことができたなら、どんなときにどんな情報のまとめ方ができるのかをあわせて考えて学習していきましょう。

【②展開】 個人で問題を解く（15分程度）。その後、全員で答え合わせを行う。

★10分ほどが経過したら、質問し合ったり、わからない部分を話し合ったりするよう助言する。

★考え方に困っていきそうな生徒には適宜助言を行う。

〈問1 助言の参考〉



三人の会話から「和菓子」と「釣り道具」は座標軸のA～Dのどこにあてはまりますか。縦軸は形に残るか、残らないか。横軸はおじさんとおばあさんのどちらか一人が喜ぶか、二人が喜ぶかで整理していますね。三人の会話のどの言葉に注目するとよいですか？

最初にショウタが「おじいちゃんもおばあちゃんもお茶が好きだしそれに合いそう」と言っているね。和菓子は食べたら形に残らないね。

「釣り道具」については、リョウタが「おじいちゃんだけに向けたプレゼントになっちゃう」と言っているから、釣り道具はおじいちゃんだけが喜ぶプレゼントみたいだね。



では、今の情報を参考に座標軸にあてはめてみましょう。また、おじいちゃんとおばあちゃんにプレゼントするとよいと考えられるものは、A～Dのどこにあてはまるものでしょうか。

〈問2 助言の参考〉



今度は、問1にある座標軸のAにあてはまるものを考える問題です。Aにあてはまるものを「人気のプレゼントを紹介したサイト」のランキングとギフト一覧から考えてみましょう。

〈問3 助言の参考〉



問1、2の情報を整理した座標軸を活用して、三人の会話をまとめてみるとよいですね。初めは「釣りの道具はどうか」と考えていた「あなた」はどのような考えをもったでしょうか。座標軸で整理した縦軸と横軸の情報を「理由」にして文章を作ってみましょう。

【③まとめ】 今日学習した内容を振り返る。



今日の学習では、情報と情報との関係の様々な表し方を理解して使うことを学習しました。今回使った座標軸やほかの情報の整理の仕方はどんなときに効果を発揮しますか。また、どんな力がつきましたか。

座標軸は二つの条件があるときの情報の整理によいと思いました。

情報を比較するときに表にまとめることが多くあるけれど、問題に出てきたランキングは順位をつけるときに使えそうです。また、考えを広げるときにはマッピングを使うとよさそうです。



まとめる内容に合わせた表し方で情報を整理すると、考えがまとめやすくなりました。



このように、内容に応じた情報と情報との関係の表し方を理解して、選択して使えるようになると日常生活や社会生活の様々な場面で活用することができます。今日学習したことを今後も使えるように覚えておきましょう。

4 指導のポイント

○【①導入】では、今までに使用した思考ツールや、他教科などでも活用している情報の整理の仕方を生徒たちに実際に発言させてどんなときに使用していたのかもあわせて考えさせるとよい。(表、ベン図、マトリクス、マッピングなど)。また、思考ツールだけでなく、メモをとるときに線を使って情報をつなげたり、記号を使っていたりすることなど、日常で使っている情報の整理の仕方にも触れておく。

○【②展開】では、自分の考えをリョウタ、ショウタとサイトを見ながら話し合ったことで、自分の考えをまとめられている点に触れられるとよい。〔思考力、判断力、表現力等〕に関連

座標の縦軸、横軸の役割について触れておくことよい。(上下、左右が正反対のものを表現している)

○【③まとめ】では、実際にどんな場面で、どんな情報のまとめ方(図や絵、記号などを用いて整理する)ができるのか考えさせたい。

5 ほかに考えられる使用方法

○「コク×スク レベル 2-1」を単元テストとして使用し、定着度を測るために使用することもできる。その際は、【②展開】だけを取り上げて20分程度の解説の時間を設けるとよい。また、授業展開例としては次のものが考えられる。

- ・ 学年スポーツ大会の種目を考えるために話し合う
 - ・ SDGsについて自分たちができることを話し合う
 - ・ 地域のお年寄りや子どもたちと交流するためのイベントを考える
- ……複数の立場から情報を整理することのできるテーマで生徒たちに情報を収集させ、実際に話し合いをする。自分で集めたり、話し合いで集めたりした情報を工夫して整理し、自分の考えをまとめる。単元の最後にテストとして「コク×スク」を実施する。